

## コロンビア政治情勢（12月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 国公立大学の学生によるデモ
- ベタンクール元大統領の逝去
- 新国連コロンビア検証ミッション代表の任命
- 政府が薬物対策の国家戦略を発表
- E L Nがクリスマス及び年末年始の一方的一時停戦を実施する旨表明
- 国会通常会期の終了
- 大統領支持率

#### 【外交】

- ドウケ大統領がメキシコ新大統領就任式典に出席（於：メキシコ）
- コロンビアが2019年世界反汚職サミットの開催地に選出
- 国連特別報告者によるコロンビアの人権活動家の状況に関する報告書
- コノヴァロフ・ロシア司法大臣の当地訪問
- 国際刑事裁判所が年間報告書を発表
- トウルヒージョ外相の中国・韓国訪問
- トウルヒージョ外相の訪日
- リマ・グループ関係国調整官会合の開催
- 在コロンビア・ベネズエラ大使館現地職員の国外退去

### 2 本文

#### 【内政】

#### 1 国公立大学の学生によるデモ

10月11日に開始した学生デモは、一時的な中断がみられたものの、12月14日まで続く大規模なものとなった。14日、ドウケ大統領は学生代表らと会合を行い、国公立大学の教育予算を4.5兆ペソ増額することで、双方は合意に達した。

#### 2 ベタンクール元大統領の逝去

7日、ベタンクール元大統領は腎臓疾患のためボゴタ市内の病院で逝去した。入院先であったサンタフェ病院は「2018年12月7日14時32分、ベタンクール元大統領が逝去されたこととお知らせする。」とのコミュニケを発出した。

#### 3 新国連コロンビア検証ミッション代表の任命

10日、グテーレス国連事務総長は、アルノー国連コロンビア検証ミッション代表の後

任にメキシコ出身のカルロス・ルイス＝マシュー氏を任命する旨を発表した。

#### 4 政府が薬物対策の国家戦略を発表

13日、ドゥケ大統領は、薬物対策に係る国家戦略を発表した。論点となっている除草剤の空中散布は、使用される薬品の人体及び環境に対する安全性が憲法裁判所によって担保されていないため、現時点では同戦略内容に含まれていない。また政府発表の統計によると、麻薬取引による収益は国内GDPの約5%に相当する。

#### 5 E L Nがクリスマス及び年末年始の一方的一時停戦を実施する旨表明

16日、E L N（国民解放軍）は、クリスマス及び年末年始にあたる12月23日から2019年1月3日までの間、一方的一時停戦を実施する旨表明した。同表明でE L Nはドゥケ大統領に対し、和平交渉団がいるキューバに政府側和平交渉団の派遣を要請した。

#### 6 国会通常会期の終了

16日、国会通常会期が終了し、また17～19日に臨時国会が行われた。可決法案には科学技術・イノベーション省の新設や資金調達法（事実上の税制改革）などが含まれる。また、政治改革法案や薬物関連犯罪及び誘拐罪を政治犯罪の関連犯罪から除外するための法案などが継続審議法案となった。

#### 7 大統領支持率

D a t e x c o社：11月24～30日実施

支持：22% 不支持：68%

#### 【外交】

##### 1 ドゥケ大統領がメキシコ新大統領就任式典に出席（於：メキシコ）

1日、ドゥケ大統領は、ロペス・オブラドール・メキシコ新大統領の就任式典出席のためメキシコを訪問した。また、同式典の機会を捉え、ペンス米副大統領と二国間の課題に関する会合を行った。

##### 2 コロンビアが2019年世界反汚職サミットの開催地に選出

3日、インターポールは二年ごとに開催される世界反汚職サミットの開催地にコロンビアを選出した旨発表した。

##### 3 国連特別報告者によるコロンビアの人権活動家の状況に関する報告書

3日、ミッシェル・フォルスト国連特別報告者は、14日間のコロンビア滞在の間に約200人の社会活動家にヒアリングを行い、その多くが脅迫による身の危険や恐怖を感じ

たとのヒアリング結果を報告した。同報告書は、事前にコロンビア政府に提出され、2020年に国連安保理事会に正式に提出される。

#### 4 コノヴァロフ・ロシア司法大臣の当地訪問

6日、コノヴァロフ・ロシア司法大臣はコロンビアを訪問し、トゥルヒージョ外相と会談を行った。同会談では、「貿易経済・科学技術協力に係るコロンビア・ロシア政府間委員会」第7回会合の開催に向けた準備会合が行われた。コロンビアは、麻薬取引及び組織犯罪においてロシアの協力を仰いでいく。

#### 5 国際刑事裁判所が年間報告書を発表

7日、国際刑事裁判所（ICC）は、事前捜査の開始を目的とした年間報告書の発表を行った。コロンビアについては超法規的措置、和平特別司法制度（JEP）、国内避難民、性犯罪及びパラ・ミリタリーへの資金援助といった事項が報告されている。

#### 6 トウルヒージョ外相の中国・韓国訪問

トゥルヒージョ外相は、東アジア歴訪の一環として13～14日に中国を17～18日に韓国をそれぞれ訪問した。13日、トゥルヒージョ外相と王毅外交部長をトップとした第9回コロンビア・中国政策協議が開催され、政治・経済開発協力の分野における二国間関係について協議したほか、薬物問題に対処するため、共同責任との立場から国際場裏において協力が必要であることを協調した。また17日、トゥルヒージョ外相は康京和外交部長官と会談を実施し、イノベーション分野に取り組むとともに、2016年に発効したFTAを活用し、特に検疫プロセスを加速化させる点につき協議した。また、和平合意の履行への支援及び、米州開発銀行（IDB）を通じたベネズエラ避難民支援のマルチ基金への支援を呼びかけた。

#### 7 トウルヒージョ外相の訪日

19～21日、トゥルヒージョ外相は日本を訪問した。19日、「ト」外相は日コロンビア友好議連及び山口公明党代表らと会談を行い、コロンビアの農業分野の潜在性について説明を行うとともに、国際的な汚職対策に関する共同取組に対する支援を依頼した。「ト」外相は、コロンビア・日友好議連に所属しているコロンビア人議員に対し、日本側の議連に所属している議員との活発な交流を促す旨述べた。その後、「ト」外相は小林経団連日本コロンビア経済委員会日本側委員長との会談を行い、日・コロンビアEPA交渉の再開及び早期妥結に向けたコロンビアのコミットメントを強調するとともに、コロンビアはアジア太平洋との関係強化、とりわけ、修好110周年を迎えた日本との関係強化に関心を有している旨述べた。同様に、「ト」外相は「コロンビアとのさらなる関係拡大に関心を寄せる多くの日本のビジネスマンとの非常に生産的な会合を終えたばかりであるが、とても肯

定的な結論であった。」と発言した。同会談終了後、2019年にコロンビアにて次回の二国間経済委員会の開催が発表された。また「ト」外相は、租税条約の署名式に出席した。本条約は、コロンビアにおける日本企業による投資促進を目指し、両国間の経済関係の更なる緊密化を図るため、新たに締結されるものである。さらに河野外務大臣とのワーキングディナーに出席し、二国間の良好な関係を強調し、河野大臣に対し、定期的なハイレベル訪問の実現に向けたメカニズムの設置を提案した。また、日本の対人地雷対策及びベネズエラの避難民への支援に感謝の意を述べた。さらに「ト」外相は、査証の相互免除の重要性について触れた。20日、「ト」外相は、擘道上智大学長と会合を行い、教育分野における二国間の協力関係強化への関心を表明した。また同大学にて、「ト」外相はコロンビアの外交政策及びドゥケ政権の政策方針について講演を行った。21日、「ト」外相は、遠藤国務大臣（東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当）及び日本オリンピック委員会（JOC）との会合を行った。同会合で「ト」外相は、コロンビア人選手の参加について述べるとともに、日本のコロンビア人選手へのスポーツ指導に対する感謝を述べた。また同日、クリエイティブ産業に携わる日本企業及び公的機関と会合を行った。同会合では、ドゥケ大統領が推進する「オレンジ経済」の文脈での協力可能性及び部門別の政策が議論された。また同会合の機会に、「ト」外相は、コロンビアのクリエイティブ産業の促進及び日本のクリエイティブ産業との交流を図るため、調査事業のためのミッション派遣を検討する旨述べた。

## 8 リマ・グループ関係国調整官会合の開催

19日、2019年1月4日にペルー・リマで開催される予定のリマ・グループ外相会合の準備会合として、メヒア・コロンビア外務省多国間担当次官とデ・セラ・ペルー外務副大臣を議長とするリマ・グループ関係国調整官会合が開催された。メヒア次官は「本会合はベネズエラの民主主義の再建、自由選挙、ベネズエラにおける法の支配の回復という目的を推進するためのあらゆる外交的・政治的な選択肢について模索する、という我々の約束を再確認する良い機会であった。」と述べた。

## 9 在コロンビア・ベネズエラ大使館現地職員の国外退去

19日、コロンビア移民庁は、不適切な駐車をしていた車両の持ち主で、在コロンビア・ベネズエラ大使館現地職員（政務顧問）のカルロス・ピノ（Carlos Pino）氏の身分証を確認、その後身柄を拘束し、翌20日、国外退去とした。同氏の国外退去理由は明らかにされていないが、2015年法律第1067号（外国人滞在外者、移民、亡命者等の国籍・滞在資格に関する法律）の「国家安全保障の脅威となる活動を行う外国人に国外退去を命じることができる」との規定に基づき、コロンビア移民庁が実行したものと見られる。